



憲法9条の会つくば

コミュニティニュース

2010. 1.17 No.31

ゆい結い

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12, 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-857-6978

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

2010年 あけましておめでとうございます。

今年も 憲法9条を高く掲げ、

賛同の輪を楽しく拡げていきましょう。

新しい年を迎え、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

年末年始の「公設派遣村」には昨年の「年越し派遣村」を上回る人が集まり、不況のもとで不安定な生活を強いられている人々がたくさんいることがはっきりと示されました。この10年間で雇用報酬は大幅に減少し、失業問題がますます深刻になっています。一方、大企業の内部留保は200兆から400兆円へと倍増しているそうです。国民のいのちと暮らしを守らずして、健全な国の発展はないものと思えます。



昨年は、自民党中心の政権から民主党中心の政権へと画期的な転換がありました。多くの国民は新しい変化を期待しましたが、思うほどではなくがっかりしたのではないのでしょうか。

鳩山政権が「無駄を削る」目的で行った行政の事業仕分けでは、海外派兵のためのヘリ空母（1隻1200億円）などの主な軍事費や米軍への「思いやり予算」や世界的にも類を見ない大資産家・大企業優遇税制などには手が触れられませんでした。国民は、これらのことを議論し、国民の暮らしを守るために予算を回すことを願っているのではないのでしょうか。

また鳩山首相は、沖縄の普天間基地問題でも「米軍の抑止力」とか「日米同盟重視」を盾に、「無条件撤去」を言えません。普天間基地は、住宅地のご真ん中にあり「世界一危険な基地」といわれ、「無条件撤去」が沖縄県民の切実な願いです。「日米対等」・「沖縄県民を理解」というならば、アメリカに普天間基地の「無条件撤去」を求めるべきではないのでしょうか。

今年5月に、「憲法改定」手続きのための「国民投票法」が施行されます。鳩山首相は、年末のラジオ番組収録で「憲法改正」に意欲を示したと報道されています。

民主党の「憲法提言」(2005.10.31)は、憲法9条に「制約された自衛権」を明確にするとしていますが、これは、小沢幹事長がいう「国連決議があれば自衛隊の海外派兵を認める」ということと同じでしょう。つまり憲法9条を改悪し、自衛隊の海外派兵に道を開こうとするものです。

民主党中心の連立政権の誕生で、憲法問題が一時的に棚上げされた雰囲気がありますが、鳩山政権による憲法改悪への道筋はつけられているといえるでしょう。今年も憲法問題をしっかりと見つめ、楽しく語らいながら、憲法を守ろうと「運動の輪」を拡げていきましょう！



「結」 31号のおもな内容

- 1面：今、憲法9条は
- 2面：賛同を拡げる運動、成人式署名行動
- 3面：「不戦のつどい」感想、「研・学9条の会講演と対話のつどい」感想、会計報告
- 4面：「戦争を想う、平和を想う」、
「新成人から」など

行 動 予 定

- 2月7日(日)： 定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 2月19日(金)：事務局会 19時～21時半 並木公民館
- 3月7日(日)： 定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 3月21日(日)： 定例会 10時～12時半 並木公民館
皆様の参加をお願いします

会の活動から

出会いと対話

・・・12月の署名行動から・・・

近くの広場の行事から抜け出してきたたぶん4・5年生くらいの男子、「僕が署名をしてもよいのですか？」君は憲法9条って、なんだか知ってるの？「知ってるよ、戦争をしないということでしょ」わかっているなら署名をしてちょうだい。チラシと赤紙コピーを手渡して、これをお父さん・お母さんに渡してちょうだいね、と行って別れた。親と子でどんな会話があったのだろう。

60歳くらいの男性がチラシと赤紙コピーを、ああ、戦争反対だね“と快く受け取ってくれたと思ったのだが、9条を変えないでほしいという署名ですと言ったら、”自衛の戦力は必要だ。攻めてきたらどうするんだ、戦力があってこそ言うことが言える、署名は拒否する“と。いま、どこの国が攻めてくるのですかと問いには返答がなかった。こんな人とじっくりはなしてみたい。(片岡)

～成人式署名行動に参加して～

晴天の下晴れ着やスーツ姿の映える中、不安と期待を胸に初めての署名活動に参加しました。私はピア配りを担当させて頂きました。始めこそ小さな声で”お願いします”と渡していたのですが、慣れてくるとおせっかいおばさん全開になり、”ポケットに入れて後で読んでね”等と渡していました。”大丈夫です”とやんわり断られたり、携帯画面を見たままの若者もいましたが、全員で550枚以上、式参加者の約1/3に渡すことが出来ました。署名は123筆で約1/15でした。

同窓会の様な雰囲気の中、どれ位の人がこのピアをきちんと読んで考えてくれるのかは、はなはだ疑問です。でも、いざ国民投票等となった時に、そういえばあの時あんな人達が・・・と思い出してくれたなら、淡い期待も捨てるわけにはいきません。すぐに結果は出なくても、片付けの後熱いお茶を頂き、普段から署名活動を続けている皆さんの熱い思いも感じながら帰宅しました。(本田里花)

お知らせ

第2回「関東ブロック交流集会」

開催のご案内

日時:4月4日(日) 10時～16時

場所:正則高校(東京都港区)

主催:九条の会&九条の会関東ブロック
交流集会運営委員会

内容:午前 全体会

「九条の会」の報告(小森陽一さん予定)
各県の報告など

午後 10～12の分散会、分科会
(青年分科会など)

申し込み先:各県運営委員会の構成団体

「憲法9条の会つくば」で参加して下さる方は、事務局へご連絡ください。

(Tel.090-3811-3753, Fax.029-857-6978)

昨年12月に、中国ブロック(岡山)と近畿ブロック(大阪)交流集会が開催された。参加者はそれぞれ120人と700人で、各県の報告や分散会などが行われた。2月に東北ブロック開催予定

◆賛同人 2010年1月8日現在

総数 729名 (市内 549名)

◆9条署名 1月10日現在 累計:7937筆

2009年11月定例街頭署名:59筆

12月定例街頭署名:80筆

2010年成人式署名:123筆

個人署名:協力延べ41人、2009年2月からの累計:481筆



文芸9条 ほっとタイム

◇ 海越えてもどれぬ兵士 ベトナムは果てなむ国ぞ

母も朽ち逝く

◇ 氷雨降る山野に響む小綬鶏の声きこえくる

早春の径

叔父は憲兵でした。終戦でハノイ港からの帰還船に乗船するも、軍法会議にかけられ殺されると下船し、そのまま行方不明です。母親は、息子の生存を信じての生涯でした。

氷雨降る寒さの中にも春を感じる小綬鶏の声。大自然の息吹の中で、穏やかな生命の循環を感じる平和のしるしです。

殺し合うことより話し合いを！九条はいのちを大切にすることに
尽きます。

中根房子



今年の不戦の集いでは、海軍航空隊で予科練時代を過ごされた相原さんからお話を伺いました。大変お元気で、当時のことを生き生きと話してくださって、聞き入りました。戦争中の苦しい中いろいろな人の愛憎の様子も伝わってきました。ご本人が土浦空襲で逃げた様子、ミッドウェイの生き残りの教官、長男でないために特攻隊にすぐに組み入れられた人（表では泣けず、厠でひっそりと泣いていた）、除隊後のご両親の様子（なによりも帰ってくる際に米を持ってきてくれたのが嬉しかった）等さまざまです。自分の親戚では、戦争体験について、話してくれないうちに他界した人も多いですが、もともと性格的に昔のことは興味がないから、または思い出したくないからということで話してくれなかったのだと思います。相原さんの話しはそういう意味でも、貴重な話でした。ところで、水団は6回おかわりしました。

来年は満蒙開拓団について、実際を知る方からお話を聞くことを画策しております。（米村正一郎）

高校生アルバイトの実態を聞いて

～筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会 講演と対話のつどい～

第9回講演と対話のつどい「貧困と格差が教育を破壊 憲法を活かそう！」が、12月6日（日）、大穂公民館で開催されました。私も約30人の参加者と共に聴講しました。

千葉県立犢橋（こてはし）高等学校教諭の角谷信一氏の講演では、貧困のためアルバイトを余儀なくされている高校生の実態と問題点を指摘し、働くルール（労働基本法等）をとりあげた授業の実践が報告されました。私の子供も高校生の時にアルバイトをしていましたが、子供の小遣い稼ぎのアルバイトとは、程遠い実態、生活のために働くことを強いられている高校生が身近に多く存在していることに驚愕すると同時に、日本の政治が、教育、福祉に冷たい社会を放置していることに憤りを感じました。自己防衛のためには角谷先生の実践している労働基本法等の教育も大事ですが、やはり、安心して教育・福祉等を享受できるよう、政治を変えていく活動がもっと広がるということが重要だということを実感しました。（二瓶光弥）



憲法9条の会つぐば 会計報告 (2008年11月1日～2009年11月30日)

項目	収入金額	内訳	項目	支出金額	内訳
前期から繰越	245,122		ニュース「結」印刷、郵送費	99,437	
賛同人カンパ	624,260		賛同拡大・署名(印刷、郵送費)	52,390	
その他カンパ	11,590		その他(分担金、携帯電話等)	61,588	
4周年記念のつどい	392,514		4周年記念のつどい	501,071	
つどい内訳			つどい内訳		
・参加費		267,500	・出演料		250,000
・会場カンパ		94,654	・会場費		53,920
・書籍、グッズ販売収益		30,360	・宣伝費		91,400
			・つどい運営費		22,378
			・看板作成、設置、撤去費		30,000
			・事務費、ピアニスト謝礼		53,373
			次期へ繰越	559,000	
合計	1,273,486		合計	1,273,486	

戦争を想う、平和を想う

グラマン艦載機の機銃掃射

福本 貞義 (つくば市東)

それは昭和 20 年（1945 年）初夏の透きとおる様な青空に白い雲が浮かんだ爽やかな朝でした。中 4（現高 1、15 歳）の私は、3 km ほど離れた陸軍造兵廠（軍の直轄工場）に通勤するために友人と単線の無人駅で電車を待っている時、空襲警報のサイレンがなりました。駅は狙われるので、どうしようかと思案しましたが、家からやや大きい川を渡り、その兩岸に広がった田んぼの道を 20 分程歩いて来たので、駅から少し離れた、田んぼの中の、細い松の木が 10 本ほど生えた、小さな砂山に行って隠れることにしました。程なく 200m 級の山の連なりを越えて、低い高度で 10 数機のグラマン艦載機の編隊が現れました。我々の方を向いては来ましたが、上を通り過ぎると思われたところ、突如後部の 2 機が編隊から離れて真っ直ぐに我々に向かって降りてきました。驚いて松の木の後ろに身を隠した時、ガンガンと凄まじい連続音がしました。撃たれたと思いましたが、機関銃なら音が規則的な筈なのに、不規則だったのでひょいと上を見ましたら、グラマンがすぐ真上において、その周囲に何発かの砲弾が破裂した煙がありました。丘の上の造兵廠の高射砲がほぼ水



平に一齐射撃をしてくれたのです。グラマンは急上昇して雲の中に入ってしまいました。

京都、大阪、奈良の 3 府県の交点から大阪府に 5km ほど入った田舎は B29 の爆撃は受けませんでした。日本本土近海の空母からの艦載機は恐ろしい存在でした。牛を使って野良仕事をしていたお百姓さんは、空襲警報が出ると牛を放して逃げました。後で苦勞して牛を探していました。

当時私達の学年は 2 組に分かれて、1 週間ごとに交互に昼勤と夜勤に従事していました。私と逆の勤務の組は別の日に造兵廠でグラマンに攻撃されました。1 人が工場の建物から空き地を走って防空壕に逃げ込むところを見つけられ、機銃掃射を受けました。防空壕の入り口に 1 発、奥に 1 発、本人は真ん中にいて無事でした。10 cm 近い木の枝が、弾が当たったところで折れていました。

B29 からの焼夷弾が、ザーと言う不気味な音の後周囲で破裂して煙に包まれた事もありましたが、直接狙われる恐ろしさは格別です。

私は 30 歳過ぎまで、年に 1、2 度夢でグラマンに追われました。もう駄目と言う時に眼が覚めるのです。あれから 60 余年、その間の科学技術の進歩を考えますと、今や憲法九条の戦争放棄が唯一の理性的な選択でしょう。

“感じるリアリティ”が必要 ～新成人から

私は今年成人を迎える。私たちにとって、戦後 60 年、第二次世界大戦は完全に歴史教科書の世界であり、イラク戦争は遠い世界の話である。日常に戦争を感じる事など微塵もなく、まさに平和ボケ…、しかも平和ボケであることに自覚さえない。一方で、新聞からテレビ、インターネットにいたるまで、戦争の情報や動画はいつでもいくらでも手に入る。確かに戦争についての知識だけは持っているのだ。最近の 3D 映画・テレビの登場、高価なテレビゲームの発達私たちが、より臨場感やリアリティを感じたいという願望のあらわれであるように見える。しかしながら、戦争を知らない世代にとって、戦争を本当に理解するために必要なものは、“見えるリアリティ”ではなく“感じるリアリティ”ではないだろうか。すなわち、戦争の実態をより細かく知識として得たり、ゲームで擬似体験することではなく、戦争の実態を知り、悲しいとか絶対にあってはならないとか平和がいいなあと、自分自身で感じたり願ったりすることがより大切であるということだ。新成人になるにあたり、戦争と平和について考える機会をいただけて、本当にありがたく思う。(N.T 大学生)



つくばマラソンを走る・ランナーズ 9 の会・

1 月 22 日「9 の会 RUN シャツ」着て、「つくばマラソン」で 10 キロを走ってきました。レース途中「9 の会ファイト！」と一人の方から応援をいただきました。（ありがとうございます、レース中の応援はホント励みになります）

「ランナーズ 9 の会」は、茨城ではまだまだ知名度が低いようです。これから「RUNNERS 9 の会」のユニホームで走りながら、憲法 9 条と平和を守ろうという声をひろげていきます。(勝俣圭一)

